

建設環境常任委員会会議記録（概要）

令和4年3月10日（木）

開 会 （午前9時0分）

松本委員長

審査に先立ち、議案第31号「市道路線の認定について」及び議案第33号「市道路線の廃止について」現地調査を行うこととしてよろしいでしょうか。

（委員了承）

休 憩（午前9時1分）

（※休憩中に議案第31号及び議案第33号について現地調査を行う。）

再 開（午前11時0分）

【議 事】

○議案第25号「所沢市自転車駐車場条例及び所沢都市計画事業所沢駅西口土地区画整理事業施行に関する条例の一部を改正する条例制定について」

【補足説明】 な し

【質 疑】 な し

【質疑終結】

【意 見】 な し

【採 決】

議案第25号については、全会一致、原案のとおり可決すべきものと決する。

○議案第28号「所沢都市計画事業狭山ヶ丘駅東口土地区画整理事業施行
に関する条例を廃止する条例制定について」

【補足説明】なし

【質 疑】なし

【質疑終結】

【意 見】なし

【採 決】

議案第28号については、全会一致、原案のとおり可決すべきものと決する。

休 憩（午前11時1分）

（説明員交代）

再 開（午前11時2分）

○議案第22号「所沢市非常勤の特別職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について」

【補足説明】なし

【質 疑】なし

【質疑終結】

【意 見】なし

【採 決】

議案第22号については、全会一致、原案のとおり可決すべきものと決する。

○議案第29号「所沢市第2一般廃棄物最終処分場（やなせみどりの丘）
建設工事請負契約締結について」

【補足説明】なし

【質 疑】

石本委員 議案資料ナンバー3の21ページに継続費予算総額66億2,475万円とあるが、今回の契約金額は55億5,500万円になったということだが、継続費予算総額66億2,475万円はどのような経緯で算出したのか。

森澤資源循環
推進課主幹 継続費の予算額につきましては、平成31年度に基本設計を作成し、そのときに事業費として算定した金額が66億2,475万円であり、公共の単価あるいは見積り、他市の事例を用いて積算しました。

石本委員 他市の事例としてどこを参考としたのか。

森澤資源循環
推進課主幹 過去に被覆型処分場の建設を行った他市の事例を参考にしました。

石本委員 現在様々なところで資材が高騰していると報道されているが、議案質疑の答弁で今回消費税込みの落札率は約83%で安価になったということだが、そもそも継続費が過大だったのではないかと。

森澤資源循環
推進課主幹

他市の事例をいくつか確認したところ、鹿児島県の事例で上限価格と落札価格の率は82.3%であり、熊本県の事例では80.9%、北海道の留萌南部衛生組合の処分場についても89.4%という事例がございましたので、今回の処分場の見積金額が極端に低いというわけではないと考えています。

石本委員

先ほども申し上げたが資材の高騰や、現在の国際情勢の影響も出るかもしれないが、こどもと福祉の未来館の建設の際も補正を組んでいた。今後補正を組むにも、業者の財務状況をチェックする体制をとるなどして毎年見直しを行うのか。

森澤資源循環
推進課主幹

工事請負契約書に規定しておりますが、人件費や資材費などが契約締結時の単価から1.5%上昇した分につきましては事業者側から請求があれば設計変更するという規定がありますので、1.5%以上上昇した場合には設計変更の可能性はあります。

大石委員

東部クリーンセンターで地中埋設物があり、こどもと福祉の未来館はがれきが出てきたと記憶している。万が一今回も埋立てられていたごみが出てきた場合はどのような対応になるのか。

森澤資源循環

処分場用地につきましては、過去にもボーリング調査を実施しており、

推進課主幹

現段階では地中埋設物は確認されておりませんが、もし今後発見された場合は戸田建設株式会社との契約にも埋設物の撤去などは含まれておりませんので、想定外のこととして協議のうえ市の負担で撤去することと考えています。

西沢委員

今回の契約の相手方の戸田建設株式会社はプロポーザル方式なので少し違うが、一昨年に京都府長岡京市が新庁舎を落札したときに、最低基準価格を下回った金額で落札したということで調査となったという経緯がある。ダンピングが当時問題視されたが、今回も戸田建設株式会社の提案価格を見ると他の2グループより約8億8,000万円や約8億6,000万円の差がある。今回の最終処分場の設計を見ると、そこまで複雑な建物ではないので、どこが提案しても同じようなものになると思う。そこで、この8億円以上の差が出ていることについてどのような認識をお持ちか。

森澤資源循環

今回複数の事業者が参加したことで競争性が図られ、提案価格が下がったことが一つございます。また、今回の戸田建設株式会社の提案内容として、処分場の埋立地はコンクリート構造ですが、そうした部分の耐震強度

推進課主幹

を上げつつスリム化を図るという提案があり、事業者のノウハウや企業努力によりコストを下げたという事例がありました。事業者選定委員会での審査においても3グループの中で一番技術点の評価が高かったというこ

とから総合的に考えて戸田建設株式会社と契約締結しても問題はないと
考えています。

西沢委員 価格差がありすぎるので心配している。例えば施工終了後に供用開始に
なり、そのときに様々な不具合が出たときに改修の必要性が生じる場合も
あるが、当然契約ではその後の保証があると思うが、その期間は何年か。

森澤資源循環 2年間の瑕疵担保期間を設けています。

推進課主幹

西沢委員 2年以降の不具合については市の責任で処理しなければならないとい
うことか。

森澤資源循環 状況によると思いますが、戸田建設株式会社の施工した物に関する不具
合であれば戸田建設株式会社と交渉して、戸田建設株式会社にしかるべき
対応をお願いしたいと考えています。

西沢委員 他市の事例で戸田建設株式会社の施工した最終処分場で遮へいシート
が破れたという事例があり、それは認識されていると思うが、そういった
場合については瑕疵担保責任の2年以降は戸田建設株式会社と市のどち
らがやることになるのか。

| | |
|-----------------|--|
| 森澤資源循環 推進課主幹 | 通常であれば遮水シートが破れることは考えにくいですが、明らかに施工と関連するところであれば、瑕疵担保期間が過ぎた後でも戸田建設株式会社に状況を説明し、シートの修繕等を実施してもらうなどの対応を市としては求めていきたいと考えています。 |
| 秋田委員 | 1. 5%の上昇分を事業者から要望があれば変更するということが、設定の変更により構造が簡便なものと考えてよいのか。 |
| 森澤資源循環 推進課主幹 | 契約締結時の人件費あるいは資材などが1年経過し、比較して1.5%以上高騰した場合に適用されるもので、必ずしも簡便になるというものではないと考えています。 |
| 秋田委員 | 例えば建物を作るとき、資材をステンレス製からスチール製の安価なものに変えるというような認識でよいのか。 |
| 森澤資源循環 推進課主幹 | 戸田建設株式会社が選定した資材については変更せず施工を続けるように考えていますが、明らかに工期の遅延が予測される場合などには資材を変更することも想定されると考えています。 |
| 石本委員 | 先ほど西沢委員からも質疑があったが他のグループに比べると8億円 |

以上の差があり、3グループ中2グループは66億円に近い金額だ。戸田建設株式会社は突出して安い。秋田委員の質疑に関連するが1.5%というのはいったい工場の相場なのか。

森澤資源循環
推進課主幹 市の一般的な工事請負契約約款において規定がありますので、同様の考
え方に基づいて設定しております。

小林委員 参考資料ナンバー1の13ページに非価格要素審査の得点結果が参考
にあるが、市内企業の活用の項目では地元発注額を8億7,000万円1
3社としているという答弁が昨日の城下議員の質疑であったが、どのよう
に活用しようと考えているのか。

森澤資源循環
推進課主幹 市内企業13社の活用ということで、大きく分けると地元建設事業者へ
の工事発注と、そして今回最終処分場で使用するコンクリートや配管材な
どの資材調達提案されており金額を合計したものが8億7,600万円
となります。

小林委員 同じく得点結果からで、低炭素社会への取り組みということで、この点
が3グループの中で一番低い。当市はゼロカーボンシティを目指している
が、他社と比べて得点が低く、CO2削減に関して戸田建設株式会社はど
のように考えているのか。

森澤資源循環
推進課主幹

今回の審査におきまして太陽光パネルの規模が主な評価の対象になったのではないかと考えておりますが、実際の戸田建設株式会社の提案には省エネルギーを目指して全施設にLED照明を設置したり、処分場の屋根の部分に太陽光が入るよう透明なスリット状の採光窓を設置し処分場の照明をなるべく使わないよう配慮するという提案をいただいておりますので、省エネルギーなどにより低炭素社会へ向けて取り組んでいくものと認識しています。

西沢委員

プロポーザル方式について、今回も11月19日に非価格要素審査を行い、その日に価格要素審査の得点の審査をしている。例えば提案価格1円という企業があったとして、それはそれで認められてプロポーザル、発注、契約成立ということになるのか。

森澤資源循環
推進課主幹

今回は最低価格を定めていませんが、状況によっては価格調査は必要と考えており結果次第ですが、最低価格を定めていない以上は契約する方向になると考えています。

石本委員

令和3年11月19日から26日の一週間で公表しているが、この間はどうのような確認をしているのか。

森澤資源循環 第5回事業者選定委員会のなかで戸田建設株式会社が最優秀提案者に
推進課主幹 選定されたということで、事業者選定委員会からのご意見、審査講評や1
1月19日の答申を踏まえて市の内部で検討しまして優先交渉権者とし
て決定すべく事務手続き等を行っていました。

大石委員 低入札価格調査制度というのがあるが、本当に1円という低価格入札さ
れた場合は、契約するのか。低入札価格調査制度という委員会があるのだ
から、そこは委員会の判断という答弁ではないのか。

森澤資源循環 今回は入札という位置づけではなかったのですが、そのような答弁をしまし
推進課主幹 たが、入札の場合であればご指摘の通り我々だけの判断だけではなく委員
会等の意見をお聞きしながらの決定になると思います。

杉田委員 詳細設計はこれから行うと思うが、現在出ている内容に対して、参考資
料ナンバー1の13ページで、例えば低炭素社会の取り組みが低かったと
いうところで予算の範囲内でもう少し検討できないかと要望するという
ような答弁があったと思うが、その点はどうなのか。

森澤資源循環 昨日、低炭素社会の実現に向けて再エネルギーの利活用や省エネルギー
推進課主幹 などについては、引き続き対応を求めていきたい旨の答弁がございました。
また再エネルギーの関係だけでなく生物多様性についても市の

重要な施策と考えておりますので、その点も併せて戸田建設株式会社とは金額面等で調整を図り、よりよい施設にできるよう仮契約の締結前に協議を行っております。戸田建設株式会社からは可能な限り対応する旨の回答をいただいておりますので十分に調整を図ってまいりたいと考えております。

【質疑終結】

【意見】 な し

【採 決】

議案第29号については、全会一致、可決すべきものと決する。

休 憩 (午前11時29分)

(説明員交代)

再 開 (午前11時30分)

○議案第30号「所沢市と新座市の路線が重複する部分の道路の管理の方法について」

【補足説明】なし

【質 疑】

【意 見】

【採 決】

議案第30号については、全会一致、可決すべきものと決する。

○議案第31号「市道路線の認定について」

○議案第33号「市道路線の廃止について」

松本委員長

議案第31号及び議案第33号については、一括議題とし、一括審査としてよろしいでしょうか。

(委員了承)

【補足説明】 な し

【質 疑】

大石委員

供用開始の用途は。

田中建設総務
課長

区画道路の供用開始につきましては、それぞれ時期が異なります。今回廃止と再認定をお願いする道路は、土地区画整理事業の進捗によってお願いするものでございますので、既存道路についてはご議決いただいた後に供用を開始する予定です。

大石委員

例えば先ほど視察した小学校を通過する通りなどは何年頃に供用開始するのか。

田中建設総務
課長

幹線道路と呼ばれる市道1-915号線の幅員16mの道路ですが、こちらは区画整理事業の施行期間が令和8年度末までとなっており、それまでには開通すると聞いています。詳細についてはこちらでは把握していません。

【質疑終結】

【意見】

大石委員

自由民主党・無所属の会を代表し、議案第31号及び議案第33号に賛成の意見を申し上げます。大変便利な社会が所沢駅周辺でまちづくりが進められていると思いますので、今後市民への愛着も含め、例えば供用開始されるまでに公募してとなりのトトロに関連するようなネーミングをするなど多くの人に愛される道路をお願い申し上げまして賛成とします。

【採決】

議案第31号については、全会一致、可決すべきものと決する。

議案第33号については、全会一致、可決すべきものと決する。

○議案第32号「市道路線の廃止について」

【補足説明】なし

【質疑】なし

【意見】なし

【採決】

議案第32号については、全会一致、可決すべきものと決する。

○閉会中の継続審査申出の件について（特定事件）

閉会中の継続審査申出の件については、別紙の内容で申出を行うことと決定した。

散 会（午前11時38分）